

# せいかつ百科

胆江地区衛生センターの焼却施設改修工事に伴い、平成31年2月からおよそ30日間、焼却炉の休炉期間が発生します。この間は、ごみの焼却処分ができませんので、より一層のごみ排出量の減量が必要です。きちんと分別してごみを減らしましょう。市では、分別がされていないごみや衛生センターで処理できないごみは収集しません。もう一度、正しいごみの排出、資源物のリサイクルを確認しましょう。

## ●可燃ごみ・不燃ごみの排出ルール●

- ①指定のごみ袋（**可燃ごみ＝赤文字**、**不燃ごみ＝青文字**）に入れて、袋をしっかり閉じること  
※袋からはみ出したり、袋が閉じていない場合は収集しません
- ②きちんと分別されていること  
※資源物が入っていたり、可燃ごみと不燃ごみが混在しているときは収集しません
- ③必ず居住地区の決められたごみステーションに排出すること  
**ルールが守られていない排出ごみは収集しません！**

## ごみと資源 きちんと分別しましょう

### ●ビン類・缶類・ペットボトルは資源物●

資源物はごみステーションに排出できません。リサイクルステーションに排出してください。

### リサイクルの方法

#### ○ビン類



- ・ふたを外し、紙ラベルはできるだけ剥がす
- ・ふたは不燃ごみに

#### ○缶類



- ・缶詰など食品容器の缶もリサイクル

#### ○ペットボトル



- ・ふたを外し、ラベルを剥がす
- ・ふたとラベルは「その他プラスチック」にリサイクル

※共通…中を水ですすぎ、乾かす

■問い合わせ＝本庁生活環境課生活衛生係（内線215）、各総合支所市民環境課

ようやくしのぎやすい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしですか。合併前の旧5市町村単位にあった地域自治区の終了に伴い設置された「奥州地域会議」の初会合が、先月開催されました。この会議は、30地区の振興会長が市全体の均衡ある発展と、地域が抱える問題について、情報を交換しながら解決に向けて力を合わせていくというものです。奥州市らしさが発揮できるよう、皆さまと協議を重ねてまいります。市では、県司法書士会、県宅地建物取引業協会、県土地家屋調査士会、県建築士事務所協会の4団体と空き家対策の推進に関する協定を締結しました。昨年度の空き家に関する相談や苦情は130件、15年度調査では市内に2192戸もの空き家があり、増加



傾向にあります。より良いまちづくりのために連携し、適正管理の推進を図ってまいります。市総合体育館開館20周年記念事業として開催された夏巡業・大相撲奥州場所には、市内外から多くのファンが集まり、生の相撲の醍醐味を思う存分味わいました。本市出身の三段目漣が土俵に上がる、「頑張れ！」とひととき大きな声援が送られました。たくさんの声援を受けて少し緊張したという漣さん。来場所の活躍を大いに期待します。米大リーグで活躍する大谷選手を応援するため、商工会議所やJ.A.、体育協会など10団体で構成する「大谷翔平選手ふるさと応援団」が発足しました。清水寺森貫主が揮毫した文字をデザインした横断幕やポスターを、総合支所や駅構内に設置するほか、パブリックビューイングも検討します。今後は、団体サポーターを募りながら大谷選手の活躍につながるよう、ふるさとから応援してまいります。

奥州市長 小沢昌記

We support the



## 希望の ひかり

第58回

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種最新情報をお届けします

### 東京で国際シンポジウム ノーベル賞受賞者が講演

ILC実現に向けた国際シンポジウム「ノーベル賞受賞者に聞く ILCが開く科学の未来」が8月5日に東京のお茶の水女子大学で開かれ、ノーベル物理学賞を受賞したシェルドン・グラショウ氏とバリー・バリッシュ氏が講演しました。小沢昌記市長や達増拓也県知事ら約千人が詰め掛けた会場で、両氏はILC建設に伴う科学的意義や他分野への波及効果を強調。さらに「日本は素粒子物理の世界で大きな役割を果たしてきた。加速器を日本に設置するのは自然な流れだ」と日本で実現することに期待を寄せました。



シェルドン・グラショウ氏



バリー・バリッシュ氏

○シェルドン・グラショウ氏（米ボストン大名誉教授）講演要旨

われわれは今、ILCを必要としている。ILCは単に素粒子物理学者だけのための機械ではない。日本の科学の振興につながる施設だ。日本は多くのノーベル物理学賞受賞者を輩出しており、その偉大な伝統を引き継いでほしい。ILCは技術者、産業界にも刺激を与える。日本の技術力の開発につながる。産業界に利益をもたらすはずだ。

○バリー・バリッシュ氏（米カリフォルニア工科大名誉教授）講演要旨

ILCはまさに未来のマシンだ。これまで大型加速器実験は50年ほど続いてきたが、円形が中心だ。実験に使う陽子は非常に軽く、放射光となつてエネルギーを失ってしまふ。加速器実験で最も有効なのは、線形にすることだ。スイスにある欧州合同原子核研究所（CERN）で物質に質量を与える「ヒッグス粒子」が発見されたが、どのような性質が分かっている。直線型で電子と陽電子を衝突させてシンプルな反応を調べることができる。ILCがこの詳細研究を担うことになる。ILCには、世界中の研究者が集まり、さまざまな技術や知識が持ち込まれるため、非常にダイナミックな場所になるだろう。近い将来、日本が建設を決定することを期待している。

## ILCサポーターズ6万人署名運動展開中！

政府の誘致判断を後押しするための市民総参加の誘致運動として7月からスタートした「ILCサポーターズ6万人署名運動」。地区振興会や市内事業者の皆さんのご協力により、市で取りまとめた署名数は8月末で約2万人となりました。6万人署名を目指して、引き続き募集しています。

対象 ILCの実現を応援する人

参加方法 7月に全戸配布したサポーターズ宣言用紙に氏名を記載のうえ、ILC推進室に送付（メール・FAX・郵送・持参）※サポーターズ宣言用紙は、ILCウェブサイトにも掲載していますが、ご連絡いただければ郵送いたします。

その他 ILCサポーターズ登録は無料です

また、署名運動と平行して、SNSによる参加も大募集します！

参加方法

- ①ハッシュタグ「#ILCサポーターズ」をつけてSNSで応援メッセージを投稿

- ②SNSでILCサポーターズ公式アカウントを「いいね」する
- ③ILCサポーターズ公式サイト専用フォームから応援メッセージを送信

ILCサポーターズ公式サイトQRコード→



『ILCサポーターズ宣言』（8/4千支和にて）



平成30年度水沢42歳厄年連「神巳来」の皆さん